

平成15年度動物愛護管理功労者環境大臣表彰受賞者

個人

受賞者	ふじい たかし 藤井 多嘉史（80歳） 東京都北区
主要功績	家庭犬の訓練やしつけに関し、全国各地におけるセミナー等の開催によるその重要性の普及啓発、訓練士の養成等による普及体制の整備、適切な実施方法等の技術開発等に尽力する等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養のための助言・支援等に関して貢献。

受賞者	もりた よういち 森田 陽一（72歳） 神奈川県横浜市
主要功績	（社）日本動物福祉協会の横浜支部の設立及び運営において中心的な役割を果たすとともに、遺棄された家庭動物等の再飼養支援活動、動物愛護管理に関するボランティア育成指導事業の実施などの地域に密着した実践的な活動を献身的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養のための助言・支援等に関して貢献。

受賞者	すずき かずのり 鈴木 一則（79歳） 静岡県袋井市
主要功績	（社）日本動物保護管理協会及び（社）静岡県動物保護協会の会長等として、日本獣医師会等の関係団体とともに、家庭動物の繁殖制限・個体識別措置に関する必要性の啓発及び普及体制の整備に尽力する等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発等に関して貢献。

受賞者	ルイゼ・ハンセン（87歳） 兵庫県神戸市
主要功績	（社）日本動物福祉協会の阪神支部の設立及び運営において中心的な役割を果たすとともに、関係行政機関等と連携しつつ、遺棄された家庭動物等の保護収容事業の実施及び助成基金の設立等による不妊手術の普及・支援などの地域に密着した実践的な活動を献身的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養のための助言・支援等に関して貢献。

団体

受賞者	（社）横浜市獣医師会 神奈川県横浜市
主要功績	市内小学校における学校飼育動物の適正飼養推進などの地域に密着した活動をはじめとして、全国紙等を活用した普及啓発事業の実施、各種シンポジウムの開催、家庭動物等の救護活動ボランティアの全国各地への派遣等のユニークな活動を献身的に行う等、長年にわたり動物の愛護と適正な飼養に関する普及啓発等に関して貢献。